

# はばだけ 広島サンダーズ

久原 大輝

大同生命SVリーグが開幕してから10試合を消化。通算成績は5勝5敗で5位と正直、スタートダッシュ成功とは言えない成績になっている。

上位チーム、下位チーム関係なくどの試合も非常に難しいゲーム展開を強いられている。現状のサ



アップゾーンから声をかける選手たち (9日)



## 戦い方に気付き収穫

ンダーズはどのチームにも勝てる力を備えているが、どのチームにも負けてしまう危うさも垣間見える。

長野県でのVVC長野との2連戦。勝ちセットは攻守に圧倒できる展開に持ち込んでいるが、負けセットは急に足が止まり、点数にすべきボールを点数につなげられていない場面がある。初戦は数字上では相手を上回るも、非常に悔いの残る敗戦となった。

翌日の試合前ミーティングでは、ウエベル監督・井上慎一朗主将が中心となって、次戦への思いをチーム全体で共有。試合内容は今季一番とも言える、完璧なストリート勝ちをつかんだ。昨季までの上位チームを見ると、日曜日に必ず修正できるチームが強いチームだと言える。

バレーボールの難しさ、奥深さを経験できたこの2連戦。負けは痛かったが、それ以上に勝つための戦い方に気付けたことは非常に大きいと感じる。勝負の中盤戦に向けて、全員が勝者のメンタリティーを持って試合に臨みたい。

(広島Tマネジャー)